

オリンピック・パラリンピック開催に向けたにぎわいづくりと 障害者福祉施策の推進を求める要望書

当区議会では平成26年度よりオリンピック・パラリンピック推進特別委員会を設置し、東京2020大会実施に向けた議論を進める中で、気運醸成や障害者スポーツの推進、バリアフリー整備の進め方などについて、多面的な検討と闊達な意見交換が行われております。

これらの議論の集約として、昨年10月には貴局あてに「大井ふ頭中央海浜公園および潮風公園の整備を求める要望書」を提出させていただき、競技場周辺の整備について大会後の活用を含めた検討を進めていただきますよう要望しております。

しかし東京2020大会の成功に向けては、競技会場周辺の整備と併せて、会場周辺のにぎわいづくりや障害者スポーツの振興、バリアフリー化をはじめとした多様な参加者を招き入れるための環境整備など、より多くの人々が大会に関われるような施策を展開していくことが必要であると考えております。

つきましては、オリンピック・パラリンピック競技を区内で実施するに当たり、品川区議会として下記の事項を強く要望いたします。

記

- 1 ホッケー競技開催時の大井ふ頭中央海浜公園内におけるにぎわいづくりに向けて、文化プログラムの積極的展開など、国内外の観戦者を広く招き入れるための施策について検討されたい。
- 2 東京2020大会を契機とした障害者スポーツの更なる振興に向けて、城南地区への障害者総合スポーツセンターの設置を検討されたい。
- 3 競技会場や文化イベント実施会場等において、誰もが分け隔てなく楽しめるための手話・音声・字幕等による解説の確実な実施をされたい。
- 4 競技会場周辺道路の交通の円滑化に向けて、現在整備中の大井コンテナふ頭の車両待機場と併せ、港湾周辺道路における搬出入待ちコンテナ車両等を原因とした道路混雑への対策に取り組まされたい。
- 5 障害者の芸術作品を観戦チケットや都営バスのデザインに起用することで、障害者の文化・芸術活動の知名度向上および理解促進を図られたい。

以上

平成29年4月28日

品川区議会議長 大 沢 真 一

東京都オリンピック・パラリンピック準備局長 塩見 清仁 様